	シラバス						
		1		科目の基礎情報①			
授業形態実技			科目名		美容ベーシ	ックA- I	
	必修選択	必修	(学則表記)		美容ベーシ	ックA- I	
			開講			単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科	ł	2	60
毎日教材   改正主交師主持芸師選引   放在と技術の解説				公益財団法人 理容師美容師試験研	・修センター		
		羊突師国家討駐笛	2 理題について其	科目の基礎情報② 本姿勢、知識及び構成、			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受業のねらい 	時間、仕上がりのべ					
	到達目標	美容師国家試験第	2課題技術の基础	楚知識及び国家試験合格基 <sup>⅓</sup>	<b>単を目指す。</b>		
	評価基準	テスト50% 提出物	120% 授業態度	30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者			
	関連資格	美容師免許					
	関連科目	美容ベーシックB					
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	信野 和美		実務経験			0
	実務内容	1995年~2001年、現在 サロン経営。 随	神戸市内の美容 第書小児訪問美容	ទ室に勤務。カット、カラー、パ・ 客、マツエク、まつげパーマ、エ	ーマ、ヘアセットなど ステ、撮影ヘアメイ	どお客様への施術を一: イクなどを行っている。	通り担当。2017年~
				タロの屈眼	習熟状況	兄等により授業の展開か	で変わることがあります
回数				各回の展開			
				- bull 7 /5 /     0 T5 / 1 / 1 / 1			
1	オールウェーブも	ヹッティング		における衛生上の取り扱い) zッテイング4H			
-	オールウェーブもオールウェーブも		オールウェーブも	zッテイング4H における衛生上の取り扱い)			
-		<u>マ</u> ッティング	オールウェーブ も 美容衛生(技術 オールウェーブ も 美容衛生(技術	マッテイング4H における衛生上の取り扱い) マッテイング4H における衛生上の取り扱い)			
2	オールウェーブも	マツティング 	オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術	マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッテイング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2	オールウェーブもオールウェーブも	マッティング マッティング マッティング	オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術	マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H			
3 4	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング マッティング マッティング	オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術	マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い) マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング マッティング マッティング マッティング	オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1 美容衛生(技術 オールウェーブ1	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング	オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング	オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容衛生(技術オールウェーブイ 美容のかりないで、 大一ルウェーブイ 大容のかりないで、 大一ルウェーブを容かりで、 大一ルウェーグを容がある。 大一のでは、 と、 は、 と、 は、 と、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6 7 8	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング マッティング	オールウェーブイ 美容衛生(技術イ 美容ルウェーブイ 美容ルウェーズを容かの衛生(技術イ 美容ルの衛ウェ(技がイ 美容ルの衛ウェ(技ブイ 美容ルの衛ウェ生(ナーブ・大会のルの生(ナーブ・大会のルの生(ナーブ・大会のルの生(ナーブ・大会のルの生(ナーブ・大会のルの生(ナーブ・大会のルの世の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の大会の	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6 7 8	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング	オールウェーブ1 美容ルウェーブ1 美容ルの衛ウェ (技一 満 オー 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6 7 8 9 10	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マツティング	オールウェー (大) 一 (大)	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング	オールウェー ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも オールウェーブも	マッティング	オールウェー (大) 一 (大)	マッティング4H における衛生上の取り扱い)			

## 科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 美容ベーシックA-Ⅱ 美容ベーシックA-Ⅱ 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 学科 年次 1年 美容研究科 2 60 美容師国家試験 第2課題教材一式 公益財団法人 使用数材 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 出版社 理容師美容師試験研修センター E幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート 科目の基礎情報② 美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、 授業のねらい 時間、仕上がりのベースを理解して身に付ける。 到達目標 美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。 テスト50% 提出物20% 授業態度30% 評価基準 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 美容師免許 美容ベーシックB 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 信野 和美 実務経験 担当教員 $\bigcirc$ 1995年~2001年、神戸市内の美容室に勤務。カット、カラー、パーマ、ヘアセットなどお客様への施術を一通り担当。2017年~ 実務内容 現在 サロン経営。障害小児訪問美容、マツエク、まつげパーマ、エステ、撮影へアメイクなどを行っている。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 回数 内容 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング 1 オールウェーブセッテイング4H 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング オールウェーブセッテイング4H 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング 3 オールウェーブセッテイング4H 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング オールウェーブセッテイング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 5 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 6 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 7 オールウェーブセッテイングまたワインディング4H (ワインディング) オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 8 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 9 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 10 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 11 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H オールウェーブセッティング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) 12 (ワインディング) オールウェーブセッテイングまたワインディング4H 13 総合授業 総合授業 14 総合授業 振り返り

15

総合授業

振り返り

	シラバス						
	授業形態	講義	科目名	科目の基礎情報①	基礎理	 論 I	
	必修選択	必修	(学則表記)			論 I	
			開講	単位数時間数			時間数
	年次	1年	学科	美容研究科		2	30
	使用教材	美容技術理論1 美	等技術理論2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	・修センター
	科目の基礎情報②						
授業のねらい美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。							
	到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	を目指す。			
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	美容知識 I·美容知	扣識Ⅱ·美容知識	□·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対	す 面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	斉藤 友梨香			実	務経験	0
	実務内容	長崎の美容室にて	4年間美容師とし	<u>・</u> て勤務。			
				タロの屈眼	習熟状況	兄等により授業の展開か	で変わることがあります
回数		 単元		各回の展開	内容		
1	<ul><li>≪ 8章 エステー</li><li>1. エステティック</li><li>2. 皮膚の生理と</li><li>3. カウンセリング</li></ul>	7概論:構造	・エステティック() けるカウンセリン・	D歴史、範囲、心得、注意点・ß グ	皮膚の構造・カウン	ンセリングの目的・実際、	、エステティックにお
2	4. 美容における 5. フェイシャルか 6. フェイシャルが サージ 7. フェイシャルル 8. ボディケア技 9. ボディマッサー	rア技術 及びデコルテマッ ペック 術		イシャルの効果、方法・デコルう tる手の動かし方と操作ポイント		手順	
9. ボディマッサージ  《 9章 ネイル技術 》 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング  《 9章 ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング				消毒方法の種類、器			
4	7. ネイルケア			ップ技術の手順・グ			
5	<ul><li>≪ 10章 メイケー</li><li>1. メイクアップ機</li><li>2. 顔の形態学的</li><li>3. メイクアップと</li><li>4. 皮膚の生理と</li><li>5. メイクアップの</li><li>6. スキンケア</li><li>7. ベースメイクラー</li></ul>	i論 的な観察 色彩 構造 道具	クアップによる立 角度配色・皮膚 ションの目的・選	侖(サロンワーク・スタジオワーク) 体感、顔の凹凸に基づいたプロの生理と構造・メイクアップの道 び方、塗り方と順序の一例、多 クセントカラー・パウダリング	iッキング・色の三 .具 ・クレンジンク	属性、マルセル表色系 、トーニング、プロテクラ	による色の分類、 Fィング・ファンデー

6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラつけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章~10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの 知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	テストを実施する 11章~12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論 Ⅱ 総まとめを行う

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名       基礎理論Ⅱ				
	必修選択	必修	(学則表記)		基礎理		
	Æ M	1 /=	開講	***************************************		単位数	時間数
	年次 ————————————————————————————————————	1年	学科	美容研究科		2 公益財団法人	30
	使用教材	美容技術理論1 美	美容技術理論2		出版社	理容師美容師試験研	肝修センター
茶	 受業のねらい	   		科目の基礎情報② 美容技術理論」の正しい知識を	·身につける。		
	到達目標	美容師国家試験筆					
	評価基準 			0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		有			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	美容知識I·美容统	知識Ⅱ·美容知識	ầⅢ·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	斉藤 友梨香			<b></b>	<b>と務経験</b>	0
	実務内容	長崎の美容室にて	4年間美容師とし	て勤務。			
				各回の展開	習熟状	況等により授業の展開だ	が変わることがあります
回数	<u> </u>	単元			内容		
1	美容技術理論 I	序章·1章	美容技術理論を	学ぶにあたって・美容道具 重	重点項目振り返り		
2	美容技術理論 I	2章・3章	シャンプーイング	・ヘアデザイン 重点項目振り	返り		
3	美容技術理論I	4章·5章	ヘアカッティング	・パーマネントウエービング 重	点項目振り返り		
4	美容技術理論I	6章·7章	ヘアセッティング	・ヘアカラーリング 重点項目	振り返り		
5	美容技術理論Ⅰ	総まとめ	美容技術理論]	テストを行う			
6	対策		美容技術理論]	[・Ⅱ 重点項目復習			
7	まとめ		テストを実施する	る 美容技術理論 [・Ⅱ の国家	マ試験出題傾向(	の高いものを重点的に出	出題
8	国家試験対策		美容師国家試驗	食過去問の演習と解説			
9	国家試験対策		美容師国家試驗	<b>美過去問の演習と解説</b>			
10	国家試験対策		美容師国家試驗	<b>倹過去問の演習と解説</b>			
11	国家試験対策		美容技術理論]	[・Ⅱ 重点項目復習			
12	国家試験対策		美容師国家試驗	<b>食過去問の演習と解説</b>			
13	国家試験対策		美容師国家試驗	食過去問の演習と解説			
14	国家試験対策		美容師国家試驗	食過去問の演習と解説			
15	総まとめ		総まとめを行う				

				シラバス 科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名 美容知識 I - I				
	必修選択	選択	(学則表記)		美容知識	ŧ I - I	
			開講			単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科		2	30
	使用教材	衛生管理1 衛生管	理2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	修センター
		I		科目の基礎情報②			
授	受業のねらい	美容師国家試験筆	記試験課題の「復	新生管理」の正しい知識を身に	つける。		
	到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	を目指す。			
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の成績評価が2以上の		者			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	美容知識I·美容知	扣識Ⅱ·美容知識	ầⅢ·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対	一面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	石風呂 瞳			実	務経験	0
	実務内容	2007年に看護師・1にわたり勤務している		を取得し、小児科・内科・整形が	外科・往診ナース	·訪問看護·訪問入浴·	・イベントナースと多岐
				各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開か	「変わることがあります
回数	<u>i</u>	単元		日回の政用 ー	内容		
1	オリエンテーショ 1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の		筆記試験の問題	「得する上での必要性、取得ま 類形式・問題数・問題傾向の説 義と課題」「公衆衛生発展の歴	明	容師と公衆衛生」「保健	所と理容業・美容
2	2 1編 公衆衛生 2章 保健① 「母子保健」「成人·高齢者保健」①の復習						
3	3 1編 公衆衛生 2章 保健② 「成人・高齢者保健」②「精神保健」の復習						
4	1編のまとめ 2編 環境衛生 1章 環境衛生(	D	単元テストを実施「環境衛生の概	も→振り返り・解説 要」「空気環境」の復習			
5	2編 環境衛生 1章 環境衛生②	2	「衣服・住居の衛	f生」「上下水道と廃棄物」の復	習		

6	2編 環境衛生 2章 環境衛生③	「衛生害虫とネズミ」「環境保全」の復習
7	2編のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論①	単元テストを実施→振り返り・解説 「人と感染症」の復習
8	3編 感染症 1章 感染症の総論②	「病原微生物」の復習
9	感染症の総論①のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の総論① 単元テストを実施→振り返り・解説 「感染症の予防」の復習
10	感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論①	感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習
11	3編 感染症 2章 感染症の各論②	「飲食物を介して感染する感染症」の復習「血液等を介して感染する感染症」の復習
12	3編 感染症 2章 感染症の各論③	「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習
13	感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ	感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	テストを返却→振り返り・解説

				シラバス			
	TW TY TY	=# **	THE A	科目の基礎情報①	* # F F F	*h T TT	
授業形態講義			科目名		美容知記 		
	必修選択 	選択	(学則表記)		美容知詞		D+ 日日 ¥4
	 年次	1年	開講 学科			単位数 2	時間数 30
	<u> </u>			<b>大石</b> 刷九杆		公益財団法人	30
	使用教材	衛生管理1 衛生的	管理2		出版社	理容師美容師試験研	F修センター
挡	受業のねらい	美容師国家試験筆		科目の基礎情報②	 ⊃ける。		
	到達目標	美容師国家試験筆	· E記試験合格基準	を目指す。			
	評価基準	テスト30% 小テス		0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		者			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	美容知識 I·美容	知識Ⅱ·美容知識	tⅢ·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	石風呂 瞳			身	<b>ミ務経験</b>	0
	実務内容	2007年に看護師・にわたり勤務してい		を取得し、小児科・内科・整形タ	ト科・往診ナース	く・訪問看護・訪問入浴	·イベントナースと多岐
				各回の展開	習熟状	況等により授業の展開な	が変わることがあります
回数		単元		1000000000000000000000000000000000000	内容		
1	第4編 衛生管: 1章 消毒法総		「消毒法とは」「氵「理容・美容の業	肖毒の意義」の復習 美務と消毒との関係」の復習			
2	第4編 衛生管: 1章 消毒法総 消毒法総論まと	論②		上の注意」の復習 布→振り返り・解説			
3	第4編 衛生管 2章 消毒法各		「理学的消毒法・化学的消毒法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習				_
4	第4編 衛生管 2章 消毒法各 消毒法各論まと	論②	「すぐれた消毒法	・化学的消毒法の消毒方法」の 去と実施上の注意」の復習 布→振り返り・解説	復習		
5 第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習①			「各種消毒薬」( 法」の復習	消毒液の概要、器具の使い方、	常備しておくと。	よい消毒薬と希釈液の湯	<b>貴度、消毒薬希釈液</b>
5	0早 /7世/4大		/A3+7  Q L				

6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習②	「理容所・美容所の消毒の実際」①(理容所・美容所における消毒の原則、消毒設備、器具類の消毒法、理容師・美容師の手指の消毒) 「理美容所の清潔法の実際」②(清潔保持と清掃、洗剤による清浄法、洗い場の構造と清潔保持、清掃、刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒、ハエやカなどの駆除)
7	消毒法実習まとめ 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	単元テストを実施→振り返り・解説 第1 目的〜第4 衛生的取り扱い等①
8	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的〜第4 衛生的取り扱い等② 第5 消毒〜第6 自主的管理体制
9	衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ	単元テストを実施→振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説
10	テスト	テストを実施する
11	国試過去問演習①	テストを返却→振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説
12	国試過去問演習②	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	国試過去問演習③	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	国試過去問演習④	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総合授業	総まとめを行う

				シラバス			
	授業形態	-# ¥	NDA	科目の基礎情報①	美容知識	±± 17	
	授業形態 	講義	科目名		美容知 美容知記	<i>,</i> – -	
		選択	(学則表記) 開講		天台和記	単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科	ļ	2	30
	使用教材	保健1 保健2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	修センター
				科目の基礎情報②			
挡	受業のねらい	美容師国家試験筆	記試験課題のうち	ち、保健領域(2編皮膚科学)に	こ関する正しい知	識を身につける。	
	到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	に到達する知識力の修得を目	目指す。		
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	基礎理論·美容知詞	哉Ⅰ·美容知識Ⅲ	·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	藤井 智子			身	<b>ミ務経験</b>	0
	実務内容	1986年~看護師と	して病院で勤務。	2002年からは整形外科での	勤務経験も有。		
				各回の展開		況等により授業の展開か	で変わることがあります
_ 回数_ 1	第1章 皮膚の核	単元 	1~2項 皮膚の	D表面·斯面	内容		
2	第1章 皮膚の				差並びこ人種差		
3	第1章 皮膚の棒		皮膚の構造 重要ポイント解説、単元テストと4択問題				
4	第2章 皮膚付		大角の神道 主要が121 神道、平元7 AT CTIVINI 図   1項 毛				
5	第2章 皮膚付	属器官の構造	2~4項 脂腺、				
6	第2章 皮膚付	 属器官の構造	皮膚付属器官 <i>0</i>	)構造 重要ポイント解説、単ラ	モテストと4択問題	<u> </u>	
7	第3章 皮膚の征	 循環系と神経系	1~3項 皮膚の血管、リンパ管、神経				
8	第4章 皮膚と何	対属器官の生理機能	1~6項 対外保護、体温調節、知覚作用、反射、分泌排泄、呼吸、吸収作用				
9	第4章 皮膚と付	サ属器官の生理機能	7~11項 貯蔵	、免疫·解毒·排除、再生作用	、毛と爪のはたら	き	
10	第4章 皮膚と何	対属器官の生理機能	皮膚と付属器官	の生理機能 重要ポイント解詞		択問題	
4.4	皮膚科学		1~11項 皮膚		品、体内病変、2	水分と脂の状態、ホルモ	ン、保護と手入れ、
11	第5章 皮膚と作	付属器官の保健	毛、爪の保護と	手入れ、スキンケア			
12				手入れ、スキンケア	元テストと4択問	題	
	第5章 皮膚と何 皮膚科学	対属器官の保健	皮膚と付属器官			題	
12	第5章 皮膚と作 皮膚科学 第5章 皮膚と作 皮膚科学	対属器官の保健	皮膚と付属器官1~12項 皮膚	の保健 重要ポイント解説、単	による皮膚疾患	題	

	シラバス						
	授業形態	講義	科目名	科目の基礎情報①	美容知識	#П-П	
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■			(学則表記)		美容知識		
		1 2 1	開講			単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科		2	30
	使用教材	保健1 保健2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	・
				科目の基礎情報②			
授	受業のねらい	美容師国家試験筆	記試験課題のうる	ち、保健領域(2編皮膚科学)に	:関する正しい知	識を身につける。	
	到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	に到達する知識力の修得を目	指す。		
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	0% 授業態度30%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者			
	関連資格	美容師国家試験					
	関連科目	基礎理論·美容知詞	哉Ⅰ·美容知識Ⅲ	·美容知識Ⅳ			
	 備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	 実施する。			
	担当教員	藤井 智子			集		0
	実務内容	   1986年~看護師と	して病院で勤務。	2002年からは整形外科での	 勤務経験も有。		
					習熟状法	兄等により授業の展開だ	が変わることがあります
回数			Π	各回の展開	 内容		
1	2編 皮膚科学の	のまとめ	2編皮膚科学の	復習(各章の振り返り、穴埋め	か問題や4択問題	による演習)	
2	2編 皮膚科学の	のまとめ	2編皮膚科学の復習(各章の振り返り、穴埋め問題や4択問題による演習)				
3	1編 人体の構造	造および機能 復習	1編人体の構造および機能の復習(各章の振り返り、穴埋め問題や4択問題による演習)				
4	1編 人体の構造	造および機能 復習	1編人体の構造および機能の復習 (各章の振り返り、穴埋め問題や4択問題による演習)				
5	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
6	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
7	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
8	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
9	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
10	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
11	国家試験対策		国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習				
12	国家試験対策		国家試験過去問	引、全国・校内模試の見直し、?	ブループワーク等I	こよる復習	
13	国家試験対策		国家試験過去問	引、全国・校内模試の見直し、2		こよる復習	
14	国家試験対策		国家試験過去問	別、全国・校内模試の見直し、ク	 ブループワーク等I	こよる復習	
15	国家試験対策		国家試験前重要	 ラポイント復習			
	-		***		***		

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態 講義 科目名 美容知識Ⅲ-I						
必修選択	必修選択 選択 (学則表記) 美容知識Ⅲ- I					
	開講 単位数 時間数					
年次	1年	学科	美容研究科		2	30
使用教材	香粧品化学1 香料	生品化学2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	修センター
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験筆	記試験課題の「複	香粧品化学」の正しい知識を身	たつける。		
到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	≝を目指す。			
評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	20% 授業態度30%			
認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者			
関連資格	美容師国家試験					
関連科目	基礎理論·美容知詞	哉Ⅰ·美容知識Ⅱ	[·美容知識Ⅳ			
備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
担当教員	深川 昌子			実	務経験	
実務内容						
			各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開が	変わることがありま
回数	単元		日四小灰阳	内容		
1 イントロダクショ 1章 香粧品	ン 既論	美容師免許を所取得までの流れ	所得する上での必要性 を説明する			
2 1章 香粧品板	既論	「香粧品とは何だ	か」「薬機法とは何か」「美容師の	 との関係は?」		
3 2章 香粧品原	原料	「香粧品の対象	となる人体各部の性状」「水性	原料」「油性原料	」の解説と演習	
4 2章 香粧品原	<b>夏料</b>	  「油性原料 「界	.面活性剤」「高分子化合物」の	解説と演習		

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 香粧品概論	美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する
2	1章 香粧品概論	「香粧品とは何か」「薬機法とは何か」「美容師との関係は?」
3	2章 香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習
4	2章 香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
5	2章 香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
6	3章 基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
7	4章 メイクアップ用香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
8	まとめ	まとめを行う
9	5章 頭皮·毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
10	5章 頭皮·毛髪用香粧品	「パーマ剤」の解説と演習
11	5章 頭皮·毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
13	6章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
14	まとめ	まとめを行う
15	解説	振り返り・解説

	シラバス									
	授業形態	講義	科目名	科目の基礎情報①	美容知識	± π _ π				
	必修選択				天谷和調 美容知調					
	必修迭 <u>状</u>	選択	(学則表記) 開講		天台和調	単位数	—————————————————————————————————————			
	 年次	1年	学科	美容研究科		2	30			
		 	 ‡品化学2		出版社	公益財団法人				
				科目の基礎情報②		理容師美容師試験研	修センター			
挡	受業のねらい	美容師国家試験筆	記試験課題の「複	香粧品化学」の正しい知識を身に	こつける。					
	到達目標	美容師国家試験筆	記試験合格基準	を目指す。						
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	0% 授業態度30%						
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者						
	関連資格	美容師国家試験								
	関連科目	基礎理論·美容知詞	載Ⅰ·美容知識Ⅱ 	·美容知識IV						
備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。										
担当教員 深川 昌子					実	務経験				
	実務内容									
				各回の展開	習熟状	兄等により授業の展開が	変わることがあります			
回数	付録	単元			内容					
1		解するための基礎	「物質の構成」「ク	物質(水)の構成」の解説と演習						
2	香粧品化学を理 化学 付録3~付録5	解するための基礎	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習							
3	香粧品化学を理 化学 付録6~付録7	解するための基礎	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習							
4	香粧品化学		「香粧品分野」重	重点項目の復習と確認						
5	香粧品化学		「香粧品分野」重	5点項目の復習と確認						
6	香粧品化学		「香粧品分野」重	重点項目の復習と確認						
7	香粧品化学		「化学分野」重点	項目の復習と確認						
8	香粧品化学		「化学分野」重点	京項目の復習と確認						
9	香粧品化学		「化学分野」重点	京項目の復習と確認						
10	まとめ		まとめを行う							
11	国家試験対策 国家試験過去問の演習と解説									
12	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説								
13	国家試験対策		国家試験対応問	試験対応問題の演習と解説						
14	国家試験対策		国家試験対応問	<b>引題の演習と解説</b>						
	国家試験対策		総まとめを行う							

				シラバス						
科目の基礎情報①										
	授業形態	講義	科目名	77A - <b>2</b> 3611 1300	美容知識	ŧIV - I				
	必修選択	選択	(学則表記)		美容知識	ŧIV - I				
			開講			単位数	時間数			
	年次	1年	学科	美容研究科		1	15			
	使用教材	関係法規·制度1	関係法規·制度2	2(美容) 出版社 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター						
				科目の基礎情報②						
抒	受業のねらい	美容の業に対する身 を図る。	美容師法による規	制と、行政による指導監督制原	度、およびその他(	の美容の業の関連法規	に関する知識の習得			
	到達目標 美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験 「関係法規」の合格基準を満たすことができる									
	評価基準 テスト(小テスト等含む):75% 授業態度(提出物等含む):25%									
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		5者						
	関連資格	美容師国家試験								
	関連科目	基礎理論·美容知識	ŭⅠ·美容知識Ⅱ	·美容知識Ⅲ						
	備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。						
	担当教員	中山 裕貴				務経験				
	実務内容									
				各回の展開	習熟状》	兄等により授業の展開か	「変わることがあります			
回数		 単元		付出の政用	 内容					
1	イントロダクション 第1章・第2章の	復習		·る関係法規の出題数や傾向の 明 第1章·第2章の復習	説明					
2	第3章の復習		第3章1節~3節「美容師になるまで」の復習							
3	第3章の復習		第3章3節「美容	第3章3節「美容師に求められる義務」~「管理美容師」の復習						
4	第3章 理容師活	去·美容師法 第4	美容所の開設に	-必要な届出・検査						
5	第3章 理容師法	去·美容師法 第4	盟設者が求めら	れる義務および美容所以外で	の業務					

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章・第2章の復習	国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 成績・評価の説明 第1章・第2章の復習
2	第3章の復習	第3章1節~3節「美容師になるまで」の復習
3	第3章の復習	第3章3節「美容師に求められる義務」~「管理美容師」の復習
4	第3章 理容師法·美容師法 第4 節	美容所の開設に必要な届出・検査
5	第3章 理容師法·美容師法 第4 節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
6	第3章 理容師法·美容師法 第5 節	立入検査と環境衛生監視員
7	まとめ	まとめを行う
8	解説・まとめ	振り返り・解説
9	第3章 理容師法·美容師法 第6 節	違反者に対する行政処分
10	第3章 理容師法·美容師法 第7 節	違反者に対する罰則
11	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
12	第4章 関連法規	美容業の衛生に関する関連法規
13	第4章 関連法規	美容業の消費者保護に関する関連法規
14	まとめ	まとめを行う
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

				シラバス				
	<b>松米</b> 式能	-	되므셔	科目の基礎情報①	<b>羊</b> 宏知 禁	.π. π		
	授業形態	講義	科目名		美容知識			
	必修選択	選択	(学則表記)     開講		美容知識	∦V - Ⅱ ┃ 単位数	時間数	
	 年次	1年	学科	美容研究科		1	15	
	使用教材	    関係法規·制度1	Ⅰ 関係法規·制度2	l	出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研	1 終わいなー	
				科目の基礎情報②		连各种关各种战骸节	一ドピング	
ł	受業のねらい	美容の業に対する美を図る。	<b>美容師法による</b> 規	制と、行政による指導監督制	度、およびその他の	の美容の業の関連法規	に関する知識の習得	
	到達目標 美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験 「関係法規」の合格基準を満たすことができる							
	評価基準 テスト(小テスト等含む):75% 授業態度(提出物等含む):25%							
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者				
	関連資格	美容師国家試験						
関連科目 基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ								
	備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	中山 裕貴		実務経験				
	実務内容							
				各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開が	が変わることがあります	
回数		単元		I H V KVII	内容			
1	第1章 第2章の	復習	ワークブックを用	いて問題演習				
2	第3章の復習(1	)	ワークブックを用	いて問題演習				
3	第3章の復習(2	)	ワークブックを用	いて問題演習				
4	第3章の復習(3	)・第4章の復習(1)	ワークブックや国	家試験を用いて問題演習				
5	第4章の復習(2	)	ワークブックや国	家試験を用いて問題演習				
6	まとめ		まとめを行う					
7	解説・まとめ		振り返り・解説	振り返り・解説				
8	総復習(1)		国家試験過去問演習等					
9	総復習(2)		国家試験過去問	<b>引演習等</b>				
10	総復習(3)		国家試験過去問	<b>引演習等</b>				
11	総復習(4)		国家試験過去問	<b>引演習等</b>				

国家試験過去問演習等

まとめを行う

振り返り・解説

総まとめを行う

12

15

13 まとめ

14 解説・まとめ

総まとめ

総復習(5)

	シラバス										
				科目の基礎情報①							
	授業形態	演習	科目名		コンテスト^	ヽア I					
	必修選択	選択	(学則表記)		コンテスト^		-1				
	<i>T</i> . Ye	1/5	開講	**********		単位数	時間数				
	年次 ————————————————————————————————————	1年	学科	美容研究科		1	30				
	使用教材 	ヘアアレンジ教材一	·式/撮影教材 ——————	科目の基礎情報②	出版社						
	受業のねらい	    ・美容の楽しさ、奥》	 深さを学ぶ	竹口の金旋情報と							
	到達目標	創造力、発想力の同前期;ヘアレンジ基礎後期;様々なヘア技	<b>陸技術やコンテス</b>	トに向けて練習を重ね、コンテ	ストに出場する						
	評価基準	テスト40% 提出物	130% 授業態度	30%							
	おおから   はおから   はおから										
	関連資格										
	関連科目										
	備考	原則、この科目は対	†面授業形式にて	実施する。							
	担当教員	信野 和美			実利	<b>务経験</b>	0				
	実務内容	1995年~2001年、現在 サロン経営。 随	神戸市内の美容 第書小児訪問美名	ទ室に勤務。カット、カラー、パー 客、マツエク、まつげパーマ、エ	−マ、ヘアセットなど ステ、撮影ヘアメイ	お客様への施術を一 クなどを行っている。	通り担当。2017年~				
				各回の展開	習熟状況	等により授業の展開た	が変わることがあります				
回数		単元			内容						
1	オリエンテーショ	ン	授業の流れ・到	達目標について							
2	アレンジ基礎		ウィッグを使った	基礎 ピニング ホットカーラー	-						
3	アレンジ基礎		アイロンテクニック	ク 編み込み							
4	アレンジ基礎		アイロンテクニック	ク 編み込み							
5	アレンジ基礎		アイロンテクニック	ク 編み込み							
6	アレンジ基礎		アイロンテクニック	ク 編み込み							
7	アレンジ基礎		アイロンテクニック 編み込み								
8	テスト		アイロンテクニック 編み込み								
9	コンテスト作品		コンテストヘア導	λ							
10	コンテスト作品		コンテストヘア実	践							
11	コンテスト作品 コンテストヘア実践										
12	コンテスト作品		コンテストヘア実	践							
13	コンテスト作品		コンテストヘア実	践							
14	コンテスト作品		コンテストヘア実	践							
15	総合授業		前期振返り								

				シラバス					
				科目の基礎情報①					
	授業形態	演習	科目名		コンテスト⁄	アⅡ			
!	必修選択	選択	(学則表記)		コンテストイ	\7 I			
			開講			単位数	時間数		
	年次 ——————	1年	学科	美容研究科	-	1	30		
1	使用教材	ヘアアレンジ教材-	-式/撮影教材		出版社				
授	業のねらい	· ・ ・ 美容の楽しさ、奥		科目の基礎情報②					
創造力、発想力の向上と自ら考える力を養う。 到達目標 前期;ヘアレンジ基礎技術やコンテストに向けて練習を重ね、コンテストに出場する 後期;様々なヘア技術を学び、卒業制作に取り組む									
į	評価基準	後期, 様々なペア的   テスト40% 提出物							
į	出席が総時間数の3分の2以上ある者   ・								
	関連資格								
F	関連科目								
	備考	原則、この科目は対	ー 対面授業形式にて!	実施する。					
į	担当教員	信野 和美		実務経験					
G-11	実務内容			字に勤務。カット、カラー、パ- F、マツエク、まつげパーマ、エ			59担当。2017年~		
				各回の展開	習熟状況	等により授業の展開が	変わることがあります		
回数		単元			内容				
1	アレンジ応用		ウィッグを使った村	様々なアップスタイル					
2	アレンジ応用		ウィッグを使った村	様々なアップスタイル					
3	アレンジ応用		ウィッグを使った村	様々なアップスタイル					
4	アレンジ応用		人頭での様々なこ	アップスタイル					
5	アレンジ応用		人頭での様々なこ	アップスタイル					
6	アレンジ応用		人頭での様々なこ	アップスタイル					
7	テスト		人頭でのアップス						
8	卒業制作		自分たちでテーマ	7を決め、卒業作品をつくる					
9	卒業制作		自分たちでテーマ	でを決め、卒業作品をつくる					
10	卒業制作		自分たちでテーマ	できまり、卒業作品をつくる					
11	卒業制作		自分たちでテーマ	できまり、卒業作品をつくる					
12	卒業制作		自分たちでテーマ	でを決め、卒業作品をつくる					
13	卒業制作		自分たちでテーマ	でを決め、卒業作品をつくる					
14	卒業制作		自分たちでテーマ	てを決め、卒業作品をつくる					
_									

	シラバス									
				科目の基礎情報①						
	授業形態	演習	科目名		コンテストメ	イク [				
	必修選択 ————————————————————————————————————	選択	(学則表記)		コンテストメ		- 1 10			
	 年次	1年	開講 学科	美容研究科		単位数 1	時間数 30			
		·		美谷训九科 ————————————————————————————————————		ı	30			
	使用教材 	メイク教材一式/撮	於教材 	科目の基礎情報②	出版社					
授	受業のねらい	メイクの技術を身に	つけ、メイクアップ							
		前期;フォトコンやコ 後期;様々なメイク:		東習を重ね、コンテストに出場で 制作に取り組む	する					
	評価基準	メイク単元100%(	実技テスト50%、	提出物25%、授業態度等25	5%)					
	認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		5者						
	関連資格									
	関連科目									
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。						
	担当教員	林 玲香			実務	务経験	0			
	実務内容	2010年~2011年 イダルフォト等のメイ		つる美容室にて勤務。2017年 。	~美容室にて、スタ	イリストとして勤務し、現	見在は成人式やブラ			
				各回の展開	習熟状況	等により授業の展開が	変わることがあります			
回数	j	単元		HHVANI	内容					
1	オリエンテーション	ン	自己紹介、授業	の目的・目標説明、授業ルー	ル、メイク道具を知る	3				
2	素材·質感		メイク道具の素材・質感の違いを学ぶ							
3	テクニック		様々なテクニックを学ぶ、コンテストに向けて							
4	フォトコンメイク対	策①	フォトコンに向け <sup>-</sup>	て、デザイン考案						
5	フォトコンメイク対	**************************************	フォトコンに向ける	て、フルメイク						
6	フォトコンメイク対	策③	フォトコンに向け <sup>・</sup>	て、フルメイク						
7	フォトコンメイク対	策④	フォトコンに向け	て、フルメイク・ヘアデザイン						
8	フォトコンメイク対	策⑤	フォトコンに向け <sup>・</sup>	て、フルメイク・ヘアデザイン						
9	フォトコンメイク対	·策⑥	フォトコンに向け	て、フルメイク・ヘアデザイン						
10	フォトコンメイク対	**************************************	フォトコンに向け <sup>・</sup>	て、フルメイク・ヘアデザイン						
11	1 フォトコンメイク対策⑧ フォトコン撮影に向けて、トータルバランスチェック・デザイン完成									
12	フォトコンメイク対	策⑨	フォトコン撮影に	向けて、トータルバランスチェッ	ク・デザイン完成					
13	キャラクターメイク	ל	フォトコン撮影							
14	キャラクターメイク	ל	フォトコン撮影							
15	フォトコン振り返り	J	フォトコンの振り込	 返り・総まとめ						

				シラバス				
	授業形態	演習	科目名	科目の基礎情報①	コンテストメ・	イクⅡ		
	必修選択	選択	(学則表記)		コンテストメ			
		<u> </u>	開講		32 / / / /	単位数	時間数	
	年次	1年	学科	美容研究科		1	30	
	使用教材	メイク教材一式/撮	影教材		出版社			
				科目の基礎情報②				
授	受業のねらい 	メイクの技術を身に						
	到達目標	前期;フォトコンやコ後期;様々なメイク		東習を重ね、コンテストに出場で制作に取り組む	する 			
	評価基準	メイク単元100%(	実技テスト50%、	提出物25%、授業態度等25	5%)			
	認定条件 ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者							
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	林 玲香		実務経験			0	
	実務内容	2010年~2011年 イダルフォト等のメイ		のる美容室にて勤務。2017年 。	~美容室にて、スタ	イリストとして勤務し、	現在は成人式やブラ	
		_		各回の展開	習熟状況	等により授業の展開か	で変わることがあります	
回数		単元		日四の版例	内容			
1	メイク技術の向	<u>L</u>	後期の授業目標	に向けて、様々なメイク技術を	知る			
2	メイク技術の向。	<u> </u>	後期の授業目標に向けて、様々なメイク技術を知る					
3	卒業制作		作品のデザインを	答案・デッサンにおこす				
4	卒業制作		デザインを基にフ	ルメイク				
5	卒業制作		デザインを基にフ	ルメイク				
6	卒業制作		卒業制作 フルメ	<b>・イク・ヘアデザイン①</b>				
7	卒業制作		卒業制作 フル>	<b>・</b> イク・ヘアデザイン②				
8	卒業制作		卒業制作 フル>	<b>・イク・ヘアデザイン③</b>				
9	卒業制作		卒業制作 フル>	<b>・</b> イク・ヘアデザイン④				
10	卒業制作		卒業制作 フル>	卒業制作 フルメイク・ヘアデザイン⑤				
11	卒業制作 マルメイク・ヘアデザイン⑥							
12	2 卒業制作							
13	卒業制作	制作         卒業制作 撮影②						
14	卒業制作振り返	[v]	卒業制作の振り込	区り				
15	総合授業		まとめを行う					

	シラバス									
			科目名	科目の基礎情報①	 美容総合テ	 ケニック I				
	必修選択	選択	(学則表記)		美容総合テ					
		~,	開講			単位数	時間数			
	年次	1年	学科	美容研究科	ŀ	1	30			
	使用教材		師技術試験課題	ー イング、カッティング、衛生教 「衛生と技術の解説」、三幸 野技術テキスト 科目の基礎情報②	出版社	公益財団法人理容師ンター	大字師試験研修セ			
———— 授	業のねらい	美容師国家試験合	格に向けた授業	。時間内に合格基準を満たす	技術を習得させる	) <sub>o</sub>				
	 到達目標	美容師国家試験合	格レベルの技術							
	評価基準	テスト30% 小テス	ト20% 提出物2	20% 授業態度30%						
	 認定条件	・出席が総時間数 <i>0</i> ・成績評価が2以上		る者						
	—————— 関連資格	美容師国家資格(多	実技)							
	関連科目	美容技術理論I								
	備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。						
	担当教員	田村 勇人			実	務経験	0			
	実務内容	広島の美容室にて	美容師として勤務	孫経験有。						
				各回の展開	習熟状況	?等により授業の展開か	が変わることがあります			
回数		単元			内容					
	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) -ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ツティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ツティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
4	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ツティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
5	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	ト)小テスト				
6	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	ィング(レイヤーカッ	<b>(</b> -)				
	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ールウェーブセッティング カッテ	イング(レイヤーカッ	h)				
8	ワインディング オールウェーブセ <sup>・</sup> カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ・ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
9	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		ニおける衛生上の取り扱い) ・ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>(</b>				
10	ワインディング オールウェーブセ カッティング	ッティング		ニおける衛生上の取り扱い) ・ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>(</b>				
11	ワインディング 美容衛生(技術における衛生上の取り扱い)									
12	ワインディング オールウェーブセ <sup>・</sup> カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ・ールウェーブセッティング カッテ	・ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
13	ワインディング オールウェーブセ <sup>・</sup> カッティング	ッティング		こおける衛生上の取り扱い) ・ールウェーブセッティング カッテ	ィング(レイヤーカッ	<b>h</b> )				
14	テスト		全課題テスト							
15	総合授業		前期振返り							

				シラバス			
	let ille er Ale		-1-5	科目の基礎情報①		, , , <del>,</del> ,	
	授業形態 	演習	科目名		美容総合テ <u>/</u>		
	必修選択 	選択	(学則表記)		美容総合テク		D+ 日日 ¥4
	 年次	1年	開講 学科			<u>単位数</u> 1	時間数 30
	使用教材		試験課題「衛生と	/グ、カッティング、衛生教材ー 支術の解説」、三幸学園オリジナ	出版社	公益財団法人理容師ンター	美容師試験研修セ
抖	受業のねらい	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	枚に向けた授業	科目の基礎情報② 。時間内に合格基準を満たする	は術を翌得させる		
	*************************************	美容師国家試験合		。 阿問パリーロ 旧坐牛で 側/こり ]	文明を目 付いてる	0	
	評価基準			0% 授業態度30%			
	認定条件	・出席が総時間数の					
	脚連資格	・成績評価が2以上 美容師国家資格(写					
			<b></b>				
	関連科目	美容技術理論Ⅰ	+ 西 授 業 取 <i>十 に て</i>	中执士工			
	備考 ————————————————————————————————————	原則、この科目は対	山皮耒形丸に (	夫他9句。	ф.	<b>₹ ₹ ₹ ₹ ₹ ₹ ₹ ₹</b>	0
	担当教員	田村 勇人				務経験	0
	実務内容 	広島の美容室にて	美谷師として 勤務	<b> 栓験</b> 有。 	習孰状況	兄等により授業の展開だ	が変わることがあります
回数		<b>単元</b>		各回の展開	内容		
1		ット シャンプースタイリ		おける衛生上の取り扱い)第1課 ールウェーブセッティング カッテ	構成、第2課復習	ト)シャンプー	
2	ワインディング カ ング オールウェ-	ット シャンプースタイリ ーブセッティング	美容衛生(技術にワインディング オ	おける衛生上の取り扱い)第1課 ールウェーブセッティング カッテ	構成、第2課復習 ィング(レイヤーカッ	ト)シャンプー	
3	ワインディング カ ング オールウェ-	ット シャンプースタイリ ーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い)第1課構成、第2課復習 ワインディング オールウェーブセッティング カッティング(レイヤーカット) シャンプー				
4	ワインディング カ ング オールウェ-		美容衛生(技術における衛生上の取り扱い)第1課構成、第2課復習 ワインディング オールウェーブセッティング カッティング(レイヤーカット) シャンプー 中間テスト				
5	ワインディング カ ング オールウェ-			おける衛生上の取り扱い)第1課・ ールウェーブセッティング カッテ		ト)シャンプー	
6	シャンプースタイ 第1.2課題	リング	美容衛生(技術 第1·第2課題·3	における衛生上の取り扱い)美 レャンプー	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
7	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
8	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
9	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
10	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
11	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
12	第1.2課題		美容衛生(技術における衛生上の取り扱い)美容師国家試験課題発表に伴い強化 第1・第2課題				
13	第1.2課題		美容衛生(技術 第1·第2課題	における衛生上の取り扱い)美	容師国家試験課	題発表に伴い強化	
14	総合テスト		総合テスト				
15	総合授業		後期振返り				

	シラバス									
				科目の基礎情報①						
	授業形態	演習	科目名		プロアクテ	·ィブ I				
	必修選択	選択	(学則表記)		プロアクテ	・ イブ I				
			開講			単位数	時間数			
	年次	1年	学科	美容研究科		2	60			
	使用教材	ABEtextbook Eye	lash extensions /	Assistant director	出版社	公益社団法人 日本5 ター	理容美容教育セン			
				科目の基礎情報②						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受業のねらい	アイラッシュ施術に	対しての知識・技術を身に付ける							
	到達目標	ABE Eyelash exte	nsions Assistant	director認定試験合格						
	評価基準	検定試験:30% ラ	テスト:30% 小テ	スト:20% 提出物:20%						
	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者									
	関連資格 ABE Eyelash extensions Assistant director認定試験									
	関連科目									
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。						
担当教員 佐野 珠巳					実	務経験	0			
	実務内容	目元専門サロン(ア	イラッシュエクスラ	テンション・メイク)の代表を務め、	、目元専門⊐スメ	ブランドのプロデュースも	う行っている。			
				各回の展開	習熟状》	兄等により授業の展開が	変わることがあります			
回数	_	単元		古四の政所	内容					
1	道具確認 まつ毛エクステンジ ワゴンセッティング		道具の確認、概論	高と用具の解説、道具の表示につい	ハて					
2	まつ毛エクステンジ 衛生と消毒(実技まつ毛エクステンジ	)		肖毒・用具の消毒、ワゴンセッティン 方・かき分け(姿勢)	ッグ					
3	衛生管理(座学) まつ毛エクステンジ	ション技術(実技)	衛生管理理論、ク	ブルーの取り扱い・使用方法、紙で	の装着練習					
4	保健(皮膚・まつもまつ毛エクステンジ		保健理論 紙での装着復習							
5	保健(眼)(座学) まつ毛エクステンシ	ション装着(実技)	保健理論 Jカールの装着							
6	カウンセリング(座: テーピング(座学) リムービング(座学 テーピング、リムー	!)	カウンセリング理論 テーピング・リムー	â、テーピング理論、リムービング理 ビングの練習	<b>建論</b>					
7	小テスト(座学) まつ毛エクステンジ	ション装着(実技)	Cカールの装着							
8	小テスト(座学) まつ毛エクステンシ テーピング、リムー		装着復習							
9	タイムトライアル(	(実技)	実技試験対策							
10	デザイン(座学) デザイン(実技)		デザイン理論、総	東習						
11	タイムトライアル(実技) 実技試験対策									
12	タイムトライアル(	(実技)	実技試験対策							
13	プレ試験		筆記、実技							
14	試験対策、準備		筆記対策 実技試験準備							
15	アイラッシュ試験		筆記、実技							

	シラバス									
				科目の基礎情報①						
	授業形態	演習	科目名		プロアクテ	·ィブ Ⅱ				
	必修選択	選択	(学則表記)		プロアクテ	ィブⅡ				
		Ι	開講			単位数	時間数			
	年次 ————————————————————————————————————	1年	学科	美容研究科		1	45 			
	使用教材	ABEtextbook Eye	lash extensions /		出版社	公益社団法人 日本5 ター	里容美容教育セン 			
177	5.4K o. 1. 2		↓	科目の基礎情報②						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受業のねらい	アイラッシュ施術に	対しての知識・技術	術を身に付ける 						
	到達目標	ABE Eyelash exte	nsions Assistant	director認定試験合格						
	評価基準	検定試験:30% ラ	テスト:30% 小テ	スト:20% 提出物:20%						
認定条件 ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者										
	関連資格	ABE Eyelash exte	nsions Assistant	director認定試験						
	関連科目									
	 備考	原則、この科目は対	一	実施する。						
	 担当教員	信野 和美		実務経験						
		1995年~2001年、	神戸市内の美容	字室に勤務。カット、カラー、パ- 字、マツエク、まつげパーマ、エ	  -マ、ヘアセットなと   ステ、提覧 ヘアメ		<b>通り担当。2017年~</b>			
		現任 リロン社呂。	早苦小児 切 回 天名			Tグなこを行うている。 兄等により授業の展開が	変わることがあります			
回数			Ι	各回の展開	 内容					
1	国家試験対策		衛生·消毒·服装	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
2	国家試験対策		C·AW·WD国家	試験規定確認						
3	国家試験対策		C·AW·WD国家試験規定確認							
4	国家試験対策		C·AW·WD国家	試験規定確認						
5	国家試験第二調	<b>見</b>	国家試験課題	タイム測定						
6	レイヤーカット		C国家試験規定	確認						
7	国家試験第二調	<b>果題</b>	国家試験課題	タイム測定						
8	レイヤーカット		C国家試験規定	確認						
9	国家試験第二調		国家試験課題	タイム測定 小テスト						
10	レイヤーカット		C国家試験規定	確認						
11	11 国家試験第二課題 国家試験課題 タイム測定									
12	12 レイヤーカット C国家試験規定確認									
13	国家試験第二調	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国家試験課題							
14	レイヤーカット		C国家試験規定	確認						
15	総合授業		テスト							

				シラバス					
				科目の基礎情報①					
授業形態講義		科目名	就職対策I						
	必修選択    選択		(学則表記)	就職対策 I					
			開講			単位数	時間数		
	年次	1年	学科	美容研究科		1	15		
	使用教材	履歴書/就職・実習	「ガイドブック		出版社				
			5 1 1 - <del>                                    </del>	科目の基礎情報②		1 1 2 1 1 A	111-4-4-4		
抒	受業のねらい	学業時にはすべての 送り出せる人材。	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって 送り出せる人材。						
	到達目標	希望の就職先に内別	定						
	評価基準	提出物:課題:50%	5 授業態度:50°	%					
	認定条件	出席が総時間数35 成績評価が2以上の							
	関連資格		7 007						
	備考 原則、この科目は対		対面授業形式にて実施する。						
	担当教員 田村 勇人		実務経験						
	実務内容								
					習熟状況	等により授業の展開が	変わることがあります		
回数		単元		各回の展開	内容				
1	夢		2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について						
2	人間力		人間関係の構築·就職活動(GWの課題)						
3	人間力		集団行動の大切さ・就職活動の課題						
4	夢		企業研究						
5	人間力		プレゼンテーション・グループディスカッション						
6	人間力		チームワーク(熱い動画)						
7	夢		美容業界リサーチ						
8	人間力·夢		就職先リサーチ・ディスカッション						
9	人間力		チームワークとやりきる力						
10	人間力		行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて						
11	夢		美容業界の知識を深める						
12	夢		若手実業家(動画)						

企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について

課題のプレゼンテーション

前期の振り返り(目標達成度の確認)

13 夢

人間力

14 夢

15

シラバス								
科目の基礎情報①								
授業形態 講義			科目名	就職対策Ⅱ				
			(学則表記)      開講		就職对策	就職対策Ⅱ 単位数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	年次	1年	学科	美容研究科		1	時間数 15	
	使用教材	履歴書/就職·実習	 】 ガイドブック		出版社			
				科目の基礎情報②				
挡	受業のねらい	卒業時にはすべて 送り出せる人材。	の人に感謝の気持	<sub>ま</sub> ちを持ち愛される存在になって	いる。また、人間力	」が構築されて、社会	人として自信をもって	
	到達目標	希望の就職先に内	定					
	評価基準	提出物·課題:50%	6 授業態度:509 6	⁄6				
	認定条件	出席が総時間数3: 成績評価が2以上						
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	田村 勇人			実務	経験		
	実務内容							
				A	習熟状況等	等により授業の展開が	変わることがあります	
回数		単元		各回の展開	内容			
1	人間力		オリエンテーショ: レクレーション	ン(なりたい自分に向けて)				
2	人間力		担任の想い					
3	夢		一般常識					
4	夢		社会人として求められているもの					
5	人間力		愛される人材とは					
6	人間力		メンタルトレーニング①					
7	人間力		メンタルトレーニング②					
8	8 夢		企業研究					
9	人間力		感謝の気持ち					
10	夢		企業研究					
11	11 夢		CASEスタディ①					
12			CASEスタディ②					
13	人間力		卒業してからの目					
14	夢		企業研究の総ま					
15 夢			2年間の振り返り					

シラバス							
科目の基礎情報①							
	授業形態	実技 科目名 美容ベーシックB					
	必修選択	選択	(学則表記)	(学則表記) 美容ベーシッ		ーシックB	
		ı	開講			単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科		3	90
	使用教材	ワインディングまたは カッティング教材ー 改正美容師実技試 三幸学園オリジナル	式 衛生教材一式 衛生と技	式術の解説	出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	
				科目の基礎情報②			
抒	受業のねらい	美容師国家試験 写	技試験合格に向	可けた授業 試験時間内に合格	A基準を満たす打	支術を習得する	
	到達目標	美容師国家試験 第	第1課題·第2課題	・国家試験衛生合格レベルを	習得する		
	評価基準	総まとめ40% まと	:め30% 授業態	度30%			
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		6者			
	関連資格	美容師国家資格(	実技)				
	関連科目	美容技術理論I					
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	田村 勇人 他			5	実務経験	0
	実務内容	広島の美容室にて	美容師として勤務	経験有。			
				各回の展開	習熟状	:況等により授業の展開:	が変わることがあります
回数		単元			内容		
1	国家試験第1課	題·第2課題 	国家試験第1課	題·第2課題·美容師国家試勵	食衛生 ————————————————————————————————————		
2	国家試験第1課	題:第2課題	国家試験第1課	題·第2課題·美容師国家試驗	食衛生 ————————————————————————————————————		
3	国家試験第1課	題·第2課題	国家試験第1課	題·第2課題·美容師国家試勵	<b>美衛生</b>		
4	国家試験第1課	題·第2課題	国家試験第1課	題·第2課題·美容師国家試勵 	食衛生		
5	国家試験第1課			題・第2課題・美容師国家試験			
6	国家試験第1課 国家試験第1課			題・第2課題・美容師国家試験			
7	まとめ			題・第2課題・美容師国家試験		実施する 	
8	国家試験第1課			題・第2課題・美容師国家試験			
9	国家試験第1課			題・第2課題・美容師国家試験			
10	国家試験第1課			題・第2課題・美容師国家試験			
11	国家試験第1課			題·第2課題·美容師国家試驗			
12	国家試験第1課			題·第2課題·美容師国家試驗			
13	国家試験第1課			題·第2課題·美容師国家試驗			
14	国家試験第1課 国家試験第1課		国家試験第1課	題·第2課題·美容師国家試勵	第二年		
15	本	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		題·第2課題·美容師国家試勵			

シラバス							
	科目の基礎情報①         授業形態       科目名    美容知識 V						
	 必修選択	選択	(学則表記)				
			l 開講	単位数		単位数	時間数
	年次	1年	学科	美容研究科	ł	1	15
	使用教材	教科書 ノート			出版社		
				科目の基礎情報②			
:	授業のねらい		いくために、美容	とする知識の基礎を理解する。 全般の技術と理論について習 めることができる。			
	到達目標 ————————————————————————————————————	美容師国家試験(筆					
	評価基準	テスト:50% 小テス					
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上の		者 			
	関連資格	美容師国家資格					
	関連科目	基礎理論·美容知識	I·美容知識Ⅱ	·美容知識Ⅲ·美容知識Ⅳ			
	備考	原則、この科目は対応	面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	田村 勇人 他			実	務経験	0
	実務内容	広島の美容室にて美	容師として勤務	経験有。			
				各回の展開	習熟状況	と 等により授業の展開か	変わることがあります
回数	j	単元			内容		
1	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 1 第1節 第2節 第1章 総論 第1節 総論		経営を定義、経営の必要性を教える 経営の捉え方、経営資源とは、経営計画とはを教える 第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業 第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業 第1章小テスト				
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節 第2章 理容業・美容業の経営について第1		経営戦略とは何か/良い店の実現を教える 業界の概要/競争と方向性の変化を教える 縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について 古代の髪型・化粧・服装について				
3	第2章 理容業・美容業の経営について第3 節 第4節 第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節 第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世 II (江戸時代)		美容業界のサービスについて教える 資金管理の重要性と資金の流れを把握することを教える 中世・近世 I の髪型・化粧・服装について 江戸時代の髪型について				
4	第3章 資金の管理 第3節 第4節 第5節 第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 4 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ(江戸時代) 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)		会計の意味や考え方、コスト管理を教える 各税金と、従業員に対する労務管理の基本を教える 江戸時代化粧・服装について日本髪 髪型・服装・日本髪小テスト 明治の髪型・服装・化粧について				
5	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第3節 第4節 第5節 第6節 第2編人という資源 従業員としての点 第1章 人という資源 5 第2章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで) 第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代 I (1945~1950年代)		労働者の権利、優明治の髪型・服装	上げ方/給与/待遇と福利厚生に 建康で安全な職場環境について教 も・化粧について 型・服装・化粧について			

6	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現 第3節第4節 第3章従業員としての視点から 第1節 第2編人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第2節 第3節 第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960~1970年代) まとめ	美容業の健康課題、社会人の責任を教える 各種社会保険について教える(1) 1960~1970年代の髪型・化粧・服装について まとめを実施する
7	まとめ・振り返り・テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節 総まとめ	授業習得度の確認 テスト回答&解説 テストの振り返り・解説 1980~2000年代の髪型・化粧・服装について総まとめを行う
8	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節 第4節 第2編人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第5節 第6節 第3編顧客のために 第1章サービスデザイン 第1節 第4章ファッション文化史西洋編 第1節〜第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン 第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	各種社会保険について教える(2) キャリアプランを組立てる重要性、サービスデザインについて教える 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について 中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について
9	第3編顧客のために 第1章 サービスデザイン第2節 第3節 第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第4節 第5節 第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世 I (16世紀)第6節近世 II (17 世紀) 第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世Ⅲ(18世紀)	価値の構造、顧客満足、システムについて教える 人の価値と顧客の価値の多様性について教える 16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について 18世紀の髪型・化粧・服装について
10	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン第6節 第2章マーケティング第1節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第2節 第3節 第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代 I (18世紀末~19世紀初め) 第9節近代 II (19世紀) 第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代 I (1910~1920年代) 第11節現代 II (1930~1940年代前半)	サービスの範囲、美容病のマーケティングの特徴と要点を教えるマーケティングミックスの短期的要因について教える(1) 18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について 近世 I 〜近代小テスト 1910〜1940の髪型・化粧・服装について
11	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第4節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第5節 第6節 第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代II(1940後半~1950年代) 第13節現代IV(1960年代) 第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代V(1970年代)	マーケティングミックスの短期的要因について教える(2) マーケティングミックスの長期的要因について教える 1940~1960の髪型・化粧・服装について 1970の髪型・化粧・服装について
12	第3編顧客のために第3編 顧客のために 第2章マーケティング 第7節 3章サービスにおける人の役割 第1節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第2節 第3節 第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代VI(1980年代) 第4章ファッション文化史西洋編 第16節現代VII(1990~2010年代)	サービスのシステム化と接客について教える 接客の計画と準備、接客力の高め方と接客の実践法について教える(1) 1980の髪型・化粧・服装について 1990 ~2010年代の髪型・服装・化粧について
13	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第4節 第5節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第6節 第7節 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	接客の実践について教える(2)(3) 接客の実践について教える(4)(5) 和装の礼装について
14	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第8節 第9節 第10節	接客トラブルの対応、クレームや事故への対策・対処方法について教える
15	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認